

きょうなん だより

コミュニティ

- ◆令和7年度 第5号(通巻162号)
- ◆発行日 令和8年3月15日
- ◆発行 境南コミュニティ協議会
- ◆編集 広報部
- ◆住所 武蔵野市境南町3-22-9
- ◆電話 0422-32-8565
- ◆メール kyonan-c@bz04.plala.or.jp
- ◆ホームページ <https://kyonan-c.website>



HP

この町がすき 人がすき
～笑顔が広がる 境南町～

<ご挨拶>

昨年より10日も早く咲き始めた紅梅を二月の雪はすっぱり覆ってしまいました。それでも心躍る春は軽やかな足音で訪れています。短い春を惜しみつつ楽しみましょう。

本年度も、コミセンの活動にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございました。来年度に向けて、引き続きどうぞよろしく願いいたします。

会長 後藤順一

目次

- 会長挨拶 (1面)
- 令和8年度住民総会のご案内 (1面)
- 協議会からのお知らせ (1面)
- 市民と市長の「語ろう会」開催報告 (2面)
- はじめてのAI 絵本づくり体験講座
【ChatGPT×Canva】開催報告 (2面)
- シリーズ コミセンを支える地域団体 (2面)

令和8年度住民総会のご案内

日時：4月12日(日) 13:30～
場所：境南コミセン体育室

住民総会では、境南コミュニティ協議会の令和7年度事業報告、各部会・各委員会の活動報告、会計報告、監査報告を行い、討議・承認をお願いすることになります。その後、令和8年度の運営委員候補・役員候補、事業計画、予算計画について提案し、審議いただきます。

ご承知の通り、境南コミセンは協議会役員・運営委員・協力員が中心となり、ボランティアで運営しています。地域住民の方々に気持ちよく利用していただくための意見などをお待ちしています。

なお、総会終了後には、皆さんとの交流会を予定しています。ご近所の皆さんお誘いあわせの上、お気軽にお越しくださいますようお願いいたします。

協議会からのお知らせ

- スマホ相談会(隔月開催)
開催日 3月21日(第3土曜日)
時間：14:00～16:00
(おひとり30分程度)
場所：境南コミセン会議室



主催：広報部

- 親子企画
 - ・わらべうたの会 毎月第2・第4月曜日
 - ・くまのこひろば 毎月1回
(奇数月は2回＝第2・第4金曜日)
 - ・親子ひろば 毎月1回

- コミュニティカフェきょうなん
日時：毎月第2土曜日 14時～16時
場所：境南コミセン1階 ロビー
参加費：1杯100円(お菓子付き)
淹れたてコーヒーを片手に、楽しくおしゃべりしませんか？

- 「おもちゃ病院」始めました
今年1月から月に1回、壊れたおもちゃを直す「おもちゃ病院」を始めました。ゲーム機などの電化製品は直せませんが、それ以外のご家庭で使っていて壊れたおもちゃを専門のNPOの人が直してくれます。お気軽にご利用ください。

日時：毎月第1土曜日 10:00～12:30
場所：境南コミセン会議室
費用：無料(但し、直すのに使った材料費は実費で頂きます。)



市民と市長の「語ろう会」 開催報告

2月1日(日)、境南コミセンで【市民と市長の「語ろう会」】が行われ、51名の方が参加しました。

第1部では、プレイス前ふれあい広場の噴水工事と益踊り櫓の設置が可能かの確認、富士見通りの通学時間帯における通行止めの方法、災害時帰宅困難者訓練の武蔵境駅と三鷹駅北口での実施などについて、来場者からさまざまな意見や要望が出されました。

第2部では、市長の在任2年を迎えるにあたり、中間報告を求める声が上がりました。これに対し、市長からは、防災対策をはじめ、三鷹駅北口および吉祥寺南口周辺の整備、第二中学校と第六中学校の統合中止の経緯、市内全中学校の統廃合に関する考え方などについて説明がありました。

また、大学生同士の交流の場が少ないとの意見に対しては、中高生向けには施設を作る予定があるが、大学生を対象とした交流の場については、今後研究を進めていくとの回答がありました。

このほかにも多くの質問や意見が寄せられました。皆さん多くの思いがあり、最初に決められた1人3分の発言時間では足りないようでした。



はじめての AI 絵本づくり体験講座 開催報告

3月1日(日)、境南コミセンにて、「はじめての AI 絵本づくり体験講座

【ChatGPT×Canva】」を開催しました。

若い方から80代の初心者まで幅広く、20名が参加しました。スマートフォンを使って AI にイメージを伝え、オリジナルの絵本用画像を作る体験を楽しみました。「思い描いた通りの絵ができた!」と、AI ならではのスピード感と表現力に、会場では驚きと笑顔があふれていました。

講師の宮崎麻理さんは Zoom で登壇し、会場では5名のアシスタントが丁寧にサポートしました。

告知後すぐに定員に達し、ご参加いただけなかった皆さまには申し訳ありませんでした。

広報部として初めて企画したイベントでしたが、AI の可能性を身近に感じられる有意義な機会となり、広報部らしい講座となりました。



《シリーズ コミセンを支える地域団体》 緑ヶ丘親睦会

1995年1月17日の阪神淡路大震災を教訓に、境南町4丁目の旧緑ヶ丘分譲地(大正14年箱根土地~現プリンスホテル~が開発)の住民23名により「隣近所と顔見知りになり非常時に声掛けをしたり、手助けをしたり出来ること」を目指して大震災の年の8月に発足しました。この互助に加えて、市役所等公的機関への働きかけも団体として行っています。会則は緩やかですが、市役所防災安全課、防犯協会などに登録済みで、銀行に口座を開設し、防犯、防災、交通安全対策、環境対策に力を入れています。

隣近所が顔見知りになることを第一目的として、会員が夫々の隣近所の住人や転入者に参加を勧誘した結果、現在の会員数は120名弱になりました。

令和2年から始まったコロナ騒動でしばらくの間活動が停滞していましたが、会員の高齢化による世代交代、転入、転出による新旧交代にきちんと対応できるように会員との連絡方法を見直し中です。会員への情報伝達は紙面で「緑ヶ丘ニュース」を年に数回発行(126号発刊済み)してきましたが、紙面での情報伝達だけでは間に合わない防犯情報などをいち早く会員に届けられるような手段を検討中です。

高齢化社会、特に認知症に対してどのように向き合うのかもこれからの課題と考えています。



(代表 長谷川武彦)